

## 学習コンテンツ 利用の手引き

コンテンツタイトル 気をつけよう！自分勝手なケイタイ利用

対象学年 中学生

学習のねらい

- ・携帯電話などの情報機器は、使ってはいけない場所があることを理解する。
- ・マナー違反が及ぼす重大な問題について考えを深めることができる。

学校で指導する際の学習展開例

	生徒の学習活動とスライド等の番号	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の所有状況を確認する。</li> <li>・携帯電話でできることについて話し合う。(光の部分)</li> <li>・携帯電話にまつわる問題点について話し合う。(影の部分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挙手により確認する。または、事前にとったアンケートの結果を伝える。</li> <li>・体験したこと、見聞きしたことなどを生徒に発表させる。</li> </ul>
展開	<p>○スライド1～2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の使用が制限されている場所について考える。</li> </ul> <p>○スライド3～6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制限されている理由について話し合う。</li> </ul> <p>○スライド7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ながら運転、ながら歩行について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスや電車、航空機などの乗り物や病院、コンサート会場など、必要に応じてヒントを出しながら生徒に発表させる。</li> <li>・機器への影響について押さえ、ペースメーカーの問題などについてもふれる。</li> <li>・他者への影響(マナー)について深く考えさせたい。</li> <li>・事故につながる危険性を理解させる。</li> </ul>
まとめ	<p>○スライド10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめの解説スライドを読み、マナーやルールについて確認する。</li> <li>・学習を振り返り、感想を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの意識の向上が大切であるということを理解させる。</li> <li>・ワークシートに感想などを書かせ、まとめとする。</li> </ul>

コンテンツ利用に必要な環境

掲示用パソコン (Windows XP 以上)、Microsoft Office PowerPoint2003、プロジェクター、スクリーン

## 学習コンテンツの解説

昨今、携帯電話に関わって様々な問題点が指摘されているように思われる。しかし、ともすれば、メールによるいじめや著作権、個人情報に関わる問題といった部分ばかりが取り上げられがちではないだろうか。この学習コンテンツは、携帯電話を持つ上でまず最初に身につけてほしいマナーについて取り上げている。携帯電話を持ち始めた、あるいは、間もなく持つであろう児童、生徒向けの学習コンテンツである。

携帯電話は非常に便利な情報機器ではあるが、使ってはいけない時と場所があることを理解させたい。乗り物の中や人混みでの利用や、ながら運転、ながら歩行など悪気はないがついやってしまいがちな使い方が、実は周りの人に迷惑をかけたり、大きな事故につながりかねない危険な使い方であるということに気づかせたい。



スライド2

- ・「携帯電話の使用が制限されている場所って、どこだろう。」

※必要に応じてヒントを与えながら、生徒の発言を引き出すようにする。



スライド3

- ・「どうして電車やバスなど公共の乗り物の中では制限されているのだろう。」

※静かな教室の中で着信音を鳴らしたり、通話をしているまねをしてみたりすると良い。



スライド4

- ・「どうして航空機の中では制限されているのだろう。」

※携帯電話が発する電磁波がTVやラジオなどの機器に及ぼす影響（画面がちらつくなど）を見せると良い。



スライド5

- ・「どうしてコンサート会場や映画館などでは制限されているのだろう。」

※静かな中でマナーモードのバイブレーションを働かせてみても良い。



スライド6

- ・「どうして病院の中では制限されているのだろう。」

※ペースメーカーについて簡単に触れる。

※病院では患者の生命に関わるかもしれないということを理解させる。



スライド7

- ・「自転車に乗りながらメールをしている生徒がいます。この後どんな危険が予想されるでしょう。」

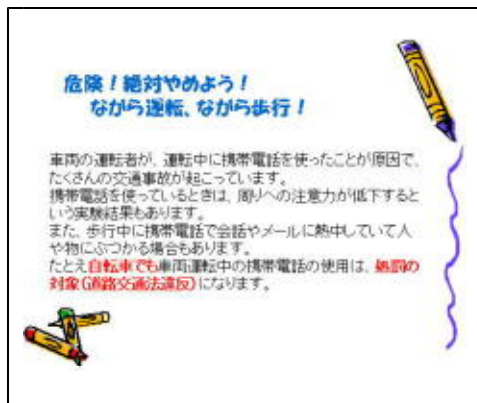
※非常に危険な行為でありながら、意外とよく見かける光景であることに気づかせたい。



スライド8

- ・自分自身が危険と言うだけでなく、相手にも迷惑をかけるということや、相手にけがをさせたりする場合もあるということに気づかせる。

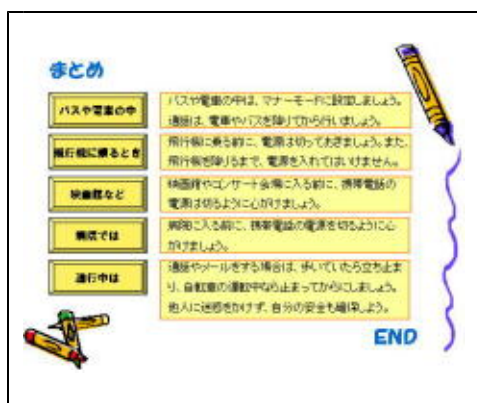
※実際にあった事故について紹介しても良い。



#### スライド 9

- ・片手運転でしかも前方不注意。いかに危険な状態かを想像させたい。

※法律（道路交通法）に違反していることを押さえる。



#### スライド 10

- ・一つ一つの状況について確認する。
- ・ワークシートの穴埋め問題に挑戦させ、感想を書いてまとめとする。

#### 参考文献等

Web サイト『情報モラル研修教材 2003』(<http://swb.nctd.go.jp/2003/index.htm>)

- [監 修] 文部科学省初等中等教育局  
独立行政法人 教員研修センター  
[制 作] 株式会社 創育  
[著作権] 独立行政法人 教員研修センター

『情報モラル研修教材 2005』(<http://swb.nctd.go.jp/2005/index.htm>)

- [監 修] 文部科学省初等中等教育局  
独立行政法人 教員研修センター  
[制 作] 株式会社 エフ・シー・マネジメント  
[著作権] 独立行政法人 教員研修センター